

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	システム開発	科目名	Webサイト制作Ⅱ					科目コード	T2072A1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	坂ノ下 勝幸	履修グループ	2A(JT/KS/SI)					授業方法	演習	
実務経験の内容	IT企業で約20年、システムの開発・サポート業務(人事総務・営業支援など)を担当しつつ、社内外の人材育成(IT基礎からコンサルタントまで)を実施した経験を活かし、分かりやすい内容の講義を実施する。									
学習一般目標	JavaScriptの特性を理解しつつ、小規模なアプリケーション開発出来るようになること 1) Webフロントエンド開発の基本的な構成を理解できること 2) 簡易的なWebサイトの開発・動作環境を構築することができる 3) JavaScriptの文法を理解し、簡単なプログラムを作成できる 4) JavaScriptを活用した動的なWebサイトを開発できる 5) JavaScriptを活用したサーバ通信を行うWebサイトを開発できる									
授業の概要および学習上の助言	Webアプリケーションを支える各要素(HTML/CSS/JavaScript)の役割を理解した上で、テキストに沿って実際に手を動かしつつ、動的なWebサイトを開発する手法を学びます。									
教科書および参考書	翔泳社『ステップアップJavaScript』									
履修に必要な予備知識や技能	HTMLに関する基本的な知識(ファイルの作り方、各要素の書き方)の復習									
使用機器	学生携帯PC									
使用ソフト	Visual Studio Code									
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が到達すべき行動目標							
	1/3		WebアプリケーションにおけるJavaScriptの役割・立ち位置を理解する							
	1/2		Webフロントエンド開発における簡易的な環境構築ができる							
	1/2		JavaScriptを駆使し、DOM操作やサーバ通信のプログラムを作成できる							
	1/2/5		JavaScriptを活用した、基本的なアプリケーションを開発できる							
	2/4/5		JavaScriptを活用した、高度なアプリケーションを開発できる							
達成度評価	評価方法		試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	学部DP	1.知識・理解	0	0	0	20	0	0	0	20
		2.思考・判断	0	0	0	10	10	0	0	20
		3.態度	0	0	0	0	0	0	20	20
		4.技能・表現	0	0	0	0	20	0	0	20
		5.関心・意欲	0	0	0	0	20	0	0	20
	総合評価割合		0	0	0	30	50	0	20	100
	評価の要点									
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	JavaScriptの理解度を図るプログラム作成の課題を出し、その提出内容を評価します
作品	オリジナルのWebアプリケーションを開発し、完成度・アイデアを評価します
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、課題・作品制作に対する取り組みを総合的に判断します

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	・Webの世界地図と学習の対象範囲 ・JavaScriptの振り返り	演習	・本書の読み方 ・STEP 0-1～3
第2回	・簡単なストップウォッチを作る ・ストップウォッチを改善する1	講義/演習	・STEP 1-1～4 ・STEP 1-5～6
第3回	・今どきのJavaScriptを知る1 ・ストップウォッチを改善する2	講義/演習	・STEP 2-1～3 ・STEP 2-4
第4回	・今どきのJavaScriptを知る2	講義/演習	・STEP 4
第5回	・振り返り・課題 (DOM操作とイベント処理)	演習	—
第6回	・サーバサイドのJavaScript	演習	・STEP 5
第7回	・AJAXでサーバーと通信する	講義/演習	・STEP 6
第8回	・少し高度なJavaScriptを知る	講義/演習	・STEP 7
第9回	・非同期処理について知る	講義/演習	・STEP 8
第10回	・AJAXと非同期処理の課題	演習	・STEP 6～8
第11回	・課題発表 ・課題制作	演習	・STEP 6～8
第12回	・課題制作	演習	・STEP 10 ・独自課題
第13回	・開発したサイトの発表	発表	—
第14回	・課題解決型授業1	時期:6期	—
第15回	・課題解決型授業2	時期:8期	—